

家族を守る強い味方も、
鳴らないと意味がありません！



住宅用火災警報器

10年を目安に
取り替えましょう!!

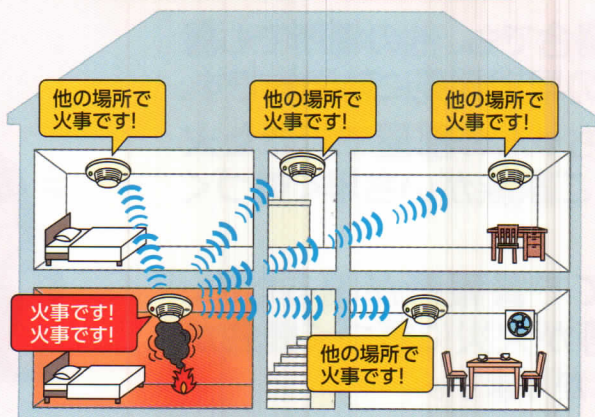


なぜ
取り替えなければ
いけないの
かしら…

私と一緒に
確認して
いきましょう



連動型住宅用火災警報器イメージ



**連動型の
住宅用火災警報器が
おすすめです!!**

裏面をチェック



10年を目安にとりかえろ。

その理由は…

New

Old



なぜ住宅用火災警報器を取り替えるのでしょうか？

住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の劣化や電池切れなどで火災を感知しなくなることがあるため、交換が必要です。

交換の目安は、住宅用火災警報器を設置してから10年です。住宅用火災警報器を設置したときに記入した「設置年月」、または本体に記載されている「製造年」で確認してください。



連動型の住宅用火災警報器が推奨されていますが、良い点は何ですか？

連動型の住宅用火災警報器が火災を感知すると、他の場所に設置されている連動型の住宅用火災警報器も連動して警報音を発します。

- 無人の場所でも出火した場合でも、他の場所でも警報音を発するため、火災の早期発見に効果的です。
- おじいちゃん、おばあちゃんの部屋で起きた火災に、他の場所にいるご家族がいち早く気づくことができます。
- 設置された場所すべてで警報音が鳴るため、ご近所の方や通行人等が火災に気づく機会が増え、早期通報につながります。

